

Sangetsu Wallpaper Design Awards 2021

第5回サンゲツ壁紙デザインアワード

ファイナリスト作品一覧 [11点]



アワード2021概要



— テーマ —

Joy of Design

— 課題 —

『Joy of Design』をテーマに「壁紙」というプロダクトの特性をふまえ、
「壁紙がそこに集う人と紡ぐストーリー」を考え、壁紙をデザインしてください。

[審査基準]

1. 新たな発想やオリジナリティを備えたデザインか(モノのデザイン)
2. 空間や使用者を想定した視点や発想があり、それらに対する効果や影響力があるか(コトのデザイン)
3. 壁紙としての実現性と実用性があるか(商品化の可能性)

[審査方法]

一次審査

提出物による審査(10月25日)※実施済

最終審査

一次審査通過者(＝ファイナリスト)によるプレゼンテーション審査
(12月22日 サンゲツ品川ショールームにて)

[審査員]

谷山 直義(株式会社NAO Taniyama & Associates代表取締役社長、クリエイティブディレクター)

植原 亮輔(株式会社キギ代表、クリエイティブディレクター・アートディレクター)

安東 陽子(株式会社安東陽子デザイン代表、テキスタイルデザイナー・コーディネーター)

岡安 泉(株式会社岡安泉照明設計事務所代表、照明デザイナー)

安田 正介(株式会社サンゲツ 代表取締役 社長執行役員)※審査委員長

[応募期間]

WEBエントリー受付:2021年 7月1日(木)～ 9月30日(木) 18:00

※提出物受付は10月8日(金)迄

[一次審査結果]

・応募点数446点(WEBエントリー 694件)※昨年420点(WEBエントリー765件)

・一次審査通過者(＝ファイナリスト)作品11作品

全446点の作品を3回に分けて全作品を展示して審査→68点まで絞り込み→ファイナリスト選考審査で11点を決定

[賞および賞金]

・大 賞(1点):100万円

・優秀賞(1点):50万円

・審査員賞(4点):各20万円

※賞によっては「該当作品なし」とさせていただく場合があります。

※受賞作品およびファイナリスト作品より商品化をする場合があります。

No.057

ナカザキ ユカ
作者名：中崎 佑香

作品名：SETOUCHI (セトウチ)



〔想定する空間〕 島国のような風景のうつろいや静けさを空間に演出します。住居・ホテル諸室を想定。

〔デザインコンセプト〕 瀬戸内のとある島の静かな海際で写真を撮った。写し表れた瀬戸内の"色"を抽出し、曖昧な角度を持たせた線模様にする。線の重なりは海・山・空の遠景や細波を連想させ、空間に静けさを演出している。さらに、近くで見る印象と遠くから見る印象の差異を生み出し、日常生活における視点の発見を誘発する。グラデーションであることは、視覚的な濃淡だけでなく、瀬戸内のうつろいを彷彿とさせる意味合いを持つ。空間が瀬戸内特有の静けさに包まれるようなイメージの壁紙。



◀ B 空間イメージ図

▼ C デザイン画 縮尺10分の1



memo

No.081

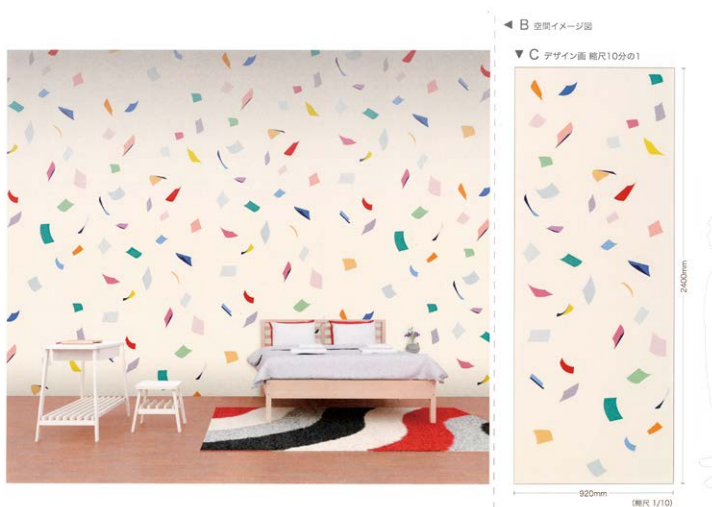
作者名：オノ タツヤ
小野 竜哉

作品名：ochikami（オチカミ）



〔想定する空間〕 住居、寝室、子供部屋 など

〔デザインコンセプト〕 普段は気にしないような「一瞬を切り取った壁紙」を考えました。
コロナ禍が続く中、家の中で誰でも表現ができる手法でデザインがしたいと考えました。
その中で誰もが、一度は触ったことのある「折り紙」を使おうと考えました。ただし普通に折らずに、空中からただ落とした時にできる偶発的な形状を切り取り、デザインにしたいと考えました。「折り紙は折るもの」と固定せずに、少しだけ視点を変えて、誰にでもできる行動で、新しい一面を表現できればと考えました。



memo

No.312

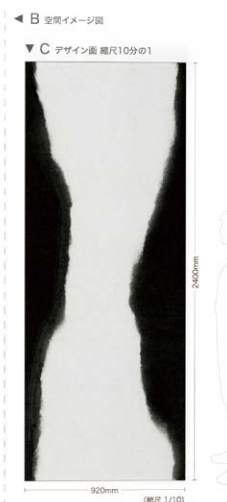
作者名：小野 ^{オノ} 竜哉 ^{タツヤ}

作品名：sumi (スミ)



〔想定する空間〕 カフェ、ホテル、日本的な空間 など

〔デザインコンセプト〕 紙が自然に「色を受け入れる形」をデザインにしたいと考えた。
和紙の両端に墨を流すだけで、和紙が自然に色を吸収し、色のついている所も、色のついていない所も一つの「滝」のように見えるようになった。コロナ禍が続く中、家の中で誰でも表現ができる手法でデザインがしたいと考えた。
自然に出来る歪みやズレの豊かさが、今の時代にはぴったりだと考えた。



memo

No.137

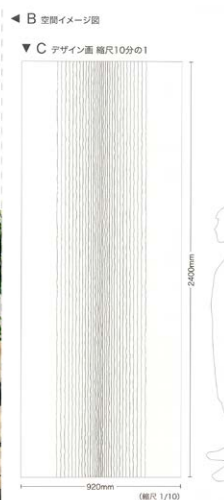
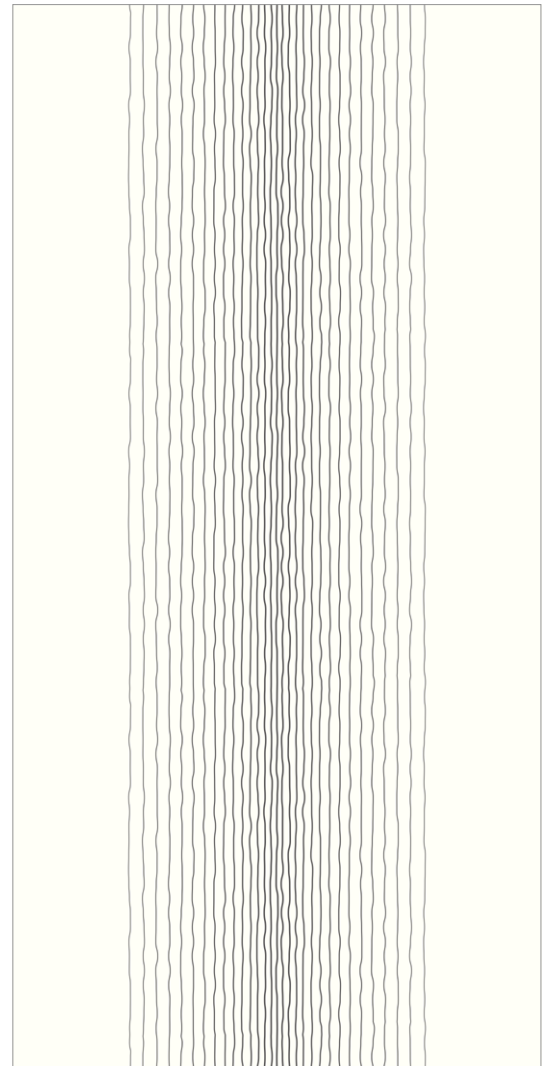
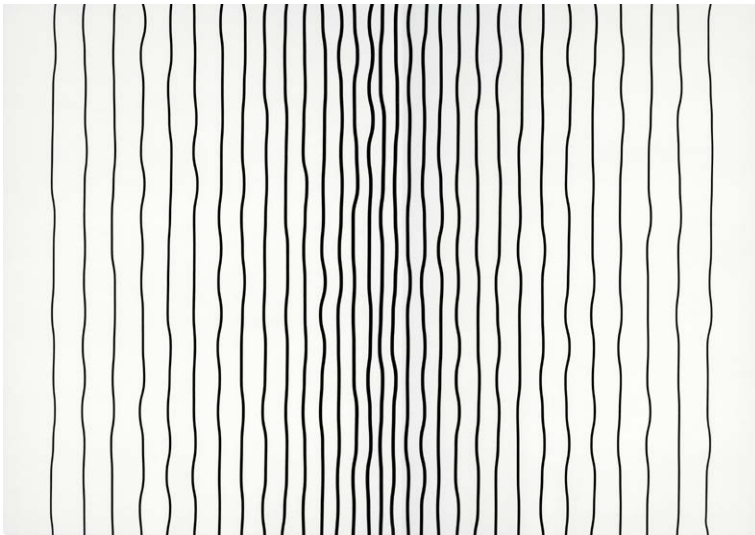
ハタザワ マ ユ ミ
作者名：畑澤 真由美

作品名：up to you (アップトゥー ユー)



〔想定する空間〕 天井に貼り照明を、壁に貼りアイテムを演出 和モダン空間 パネルアート トリム使いとして…

〔デザインコンセプト〕 巾両端を無地とした石目調テクスチャーのデザインは、反復使用によるパターン使いや、無地の石目調 (FE74900 想定) との組み合わせによる狙った位置へのポイント使いを楽しむ。規則性のない柄にも60cmの縦リピートを設け、大空間や天井面への扱い易い。一般に仕上材とされる壁紙も、自由なアイデアで照明等の設備や様々なアイテムを演出し、自体がパネルアートにも。和洋式を問わないミニマルなデザインが、作品タイトル"あなた次第"の空間づくりに一役買う。



memo

No.241

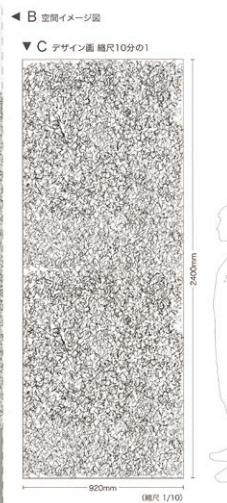
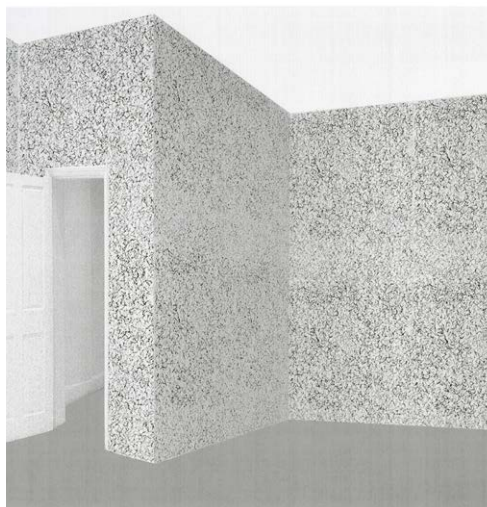
モトゾノ シホウ
作者名：本園 師芳

作品名：TWIST 白黒ver. (ツイスト シロクロ バージョン)



〔想定する空間〕 多目的ルーム、和室、パフォーマンス空間 etc.

〔デザインコンセプト〕 漆喰の物質感と左官の身体性の様なペインタリーな表面＝壁が、美術(絵画)史も内包する展開の中で迎えている今日の壁紙。そこで抽象的に表出させたドローイングの線・リズムの身体性(ストローク、視線、呼吸、鼓動)で、無機質な空間を揺さぶりつつ溶け込ませる。反発と同調。永遠に無限に続く生命をツイストし空間・場をざらつかせ活性化させ、その身体性は温かく心地良いノイズで目から始まり他の感覚領域にも作用し、よりアグレッシブなニュートラル空間を創出する。



memo

No.345

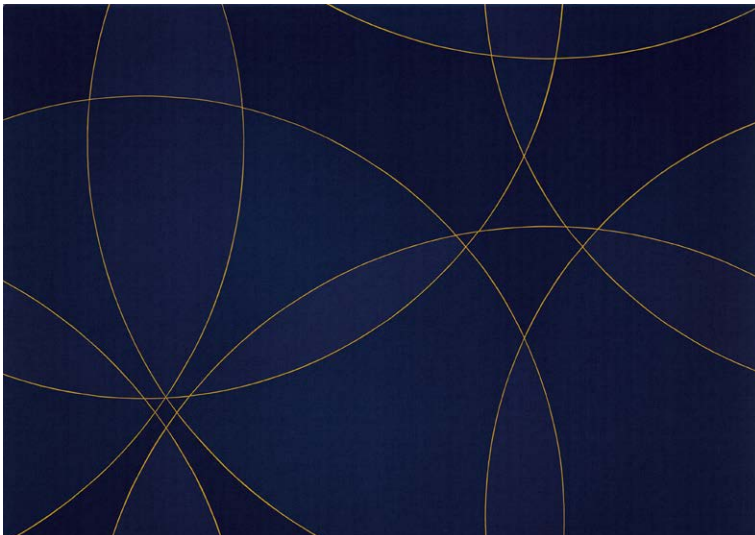
ヤマダ ヨシタカ
作者名：山田 佳貴

作品名：ヒュッゲ (HYGGE) (ヒュッゲ)



〔想定する空間〕 人が集うリビング空間

〔デザインコンセプト〕 「居心地の良い空間」と「つながりの時間」を享受する、北欧と和の心を調和したデザイン。形や色から感じられる視覚的な効果でゆとりある居心地の良い空間を演出し、領域を越えて重なり合う輪は、自分自身とのつながり、人とのつながりをイメージしています。藍染の中でも伝統的な濃い紺色は落ち着きと品格を漂わせ、優しく包み込む新月の光のように輪郭には金の箔を施し、「ヒト・モノ・コト」が空間に交わった瞬間に光輝けるようにとの願いが込められています。



◀ B 空間イメージ図

▼ C デザイン面 縮尺10分の1



memo

No.357

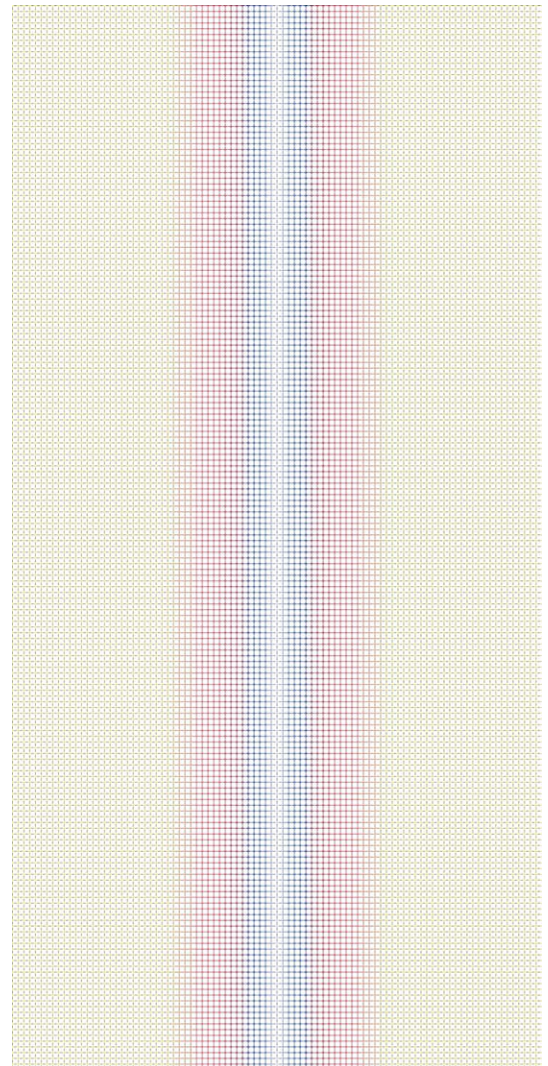
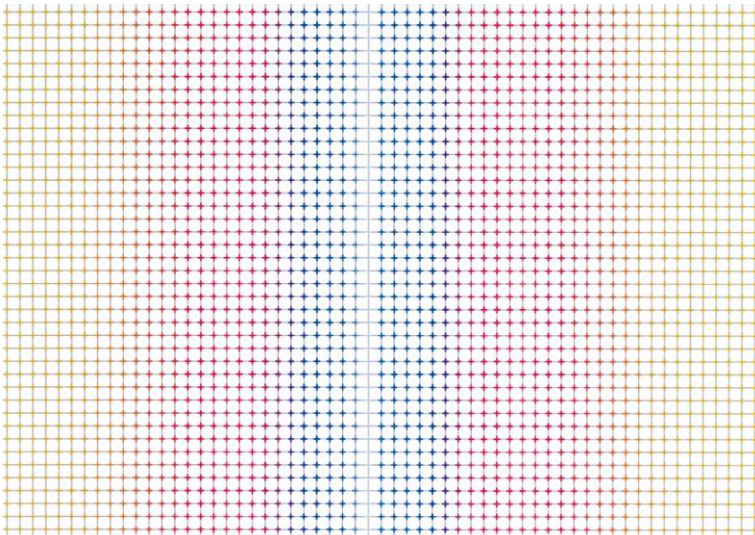
イワサ トモキ
作者名：岩佐 知樹

作品名：NEON（ネオン）



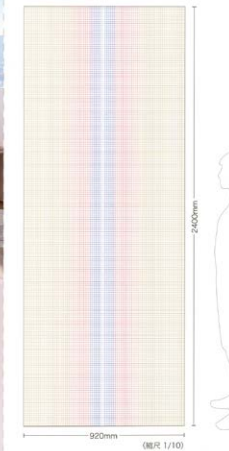
〔想定する空間〕 住宅、商空間

〔デザインコンセプト〕 鮮明な色をもつ壁面は生活の中で強く意味や影響を与えますが、有彩色でつくられた空間は飽きが来やすい傾向にあると考えます。
色彩を仄かに感じながらインテリアを構成できるようなグラフィックをつくりたいと考えました。
連続する格子の 패턴の十字の部分に色を付けることで色彩が拡散するように見えるネオンカラー効果という錯視を取り入れることで、ニュートラルな地のうえでやさしく色彩の発光を感じられるデザインとしています。



◀ B 空間イメージ図

▼ C デザイン画 縮尺10分の1



memo

No.374

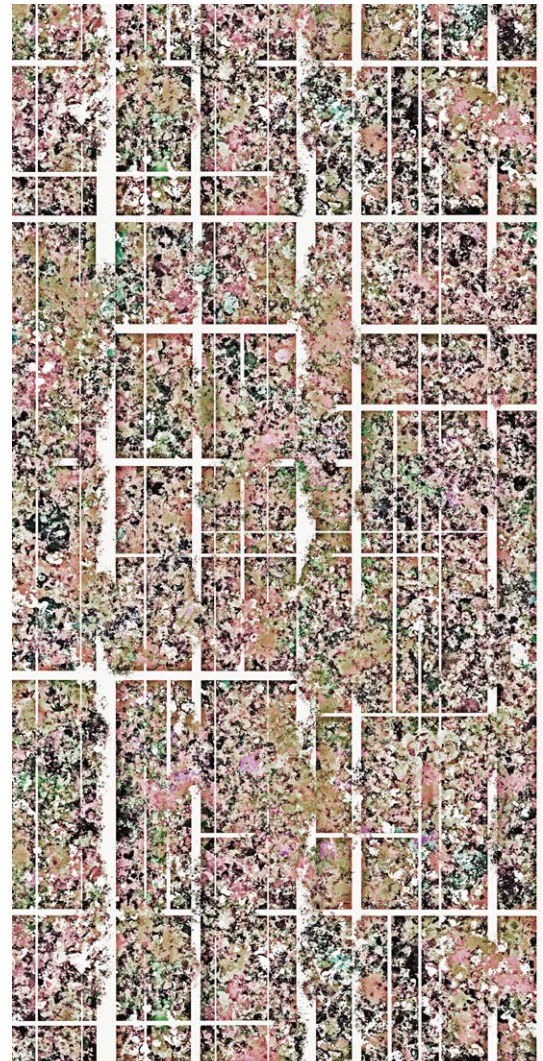
ナンバ スグル
作者名：難波 優

作品名：AGING WALL - ABSTRACT FLOWER -
(エイジングウォール - アブストラクト フラワー -)



〔想定する空間〕 寝室のアクセント、廊下の壁、商業施設のアクセントパネル など

〔デザインコンセプト〕 花柄やペイントのような、抽象的模様には白線を乗せ、所々線を削ることで立体感を演出。このままでも十分ですが、今回のテーマは「エイジングを楽しむ壁紙」です。剥がれやすい特殊塗料の白線を重ねることで、時間が経つと少しずつ下地の柄が現れ、表情を変えていく壁紙です。剥がれは壁紙にとってネガティブな問題ですが、この壁紙ではそういった経年劣化で他にはない唯一無二の壁になります。もちろん最初から好みで柄を削り出すのもOK。今までにない新しい概念の壁紙です。



memo

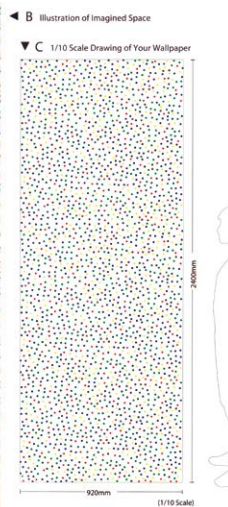
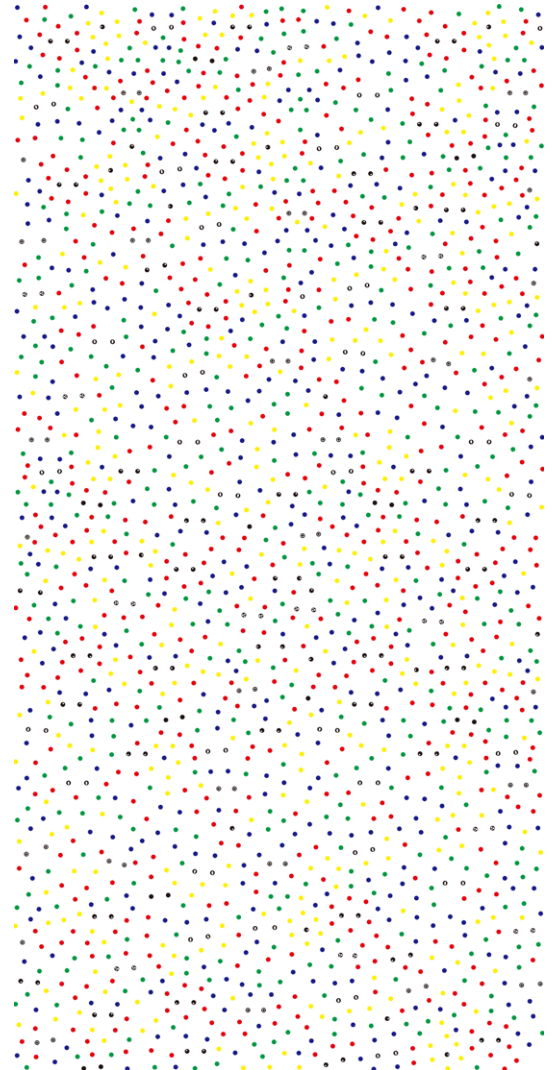
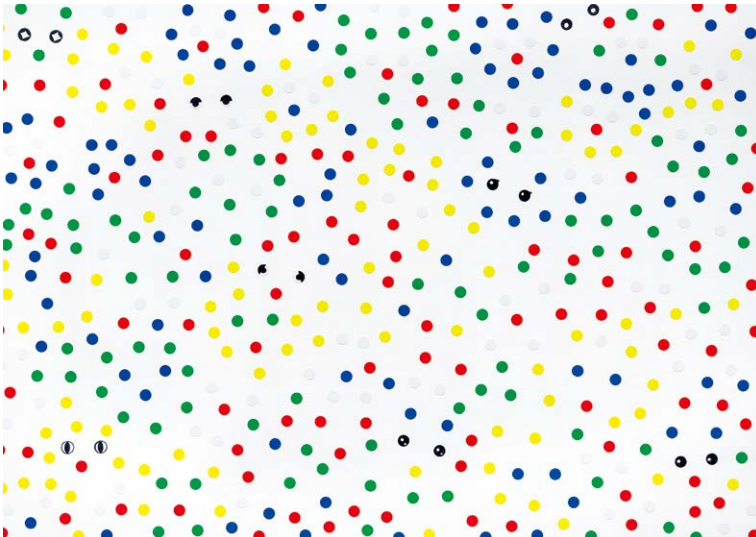
No.486

作者名：ジャロンキットカジョン ポッサナン

作品名：クリクリおめめ（クリクリオメメ）

〔想定する空間〕 Kids Room

〔デザインコンセプト〕 When I was a kid,I drew randomly on the wall,instead of being angry on me, my dad took a photo and keep it.For some parents,kid's drawing is a form of art. What if a wallpaper not only enhances room's atmosphere but also records good memories and connects people together?
Kurikuri Omeme is the wallpaper designed for kids and parents to having good time together.Kids are full of imagination,they can enjoy connecting the dots and create creature as they see.And the wall can be transformed to a piece of artwork filled with family's memories.



memo

No.519

作者名：ハラ カンキ / コマザワ ナオト
原 寛貴 / 駒澤 直登

作品名：.to noise (ドットトゥー ノイズ)

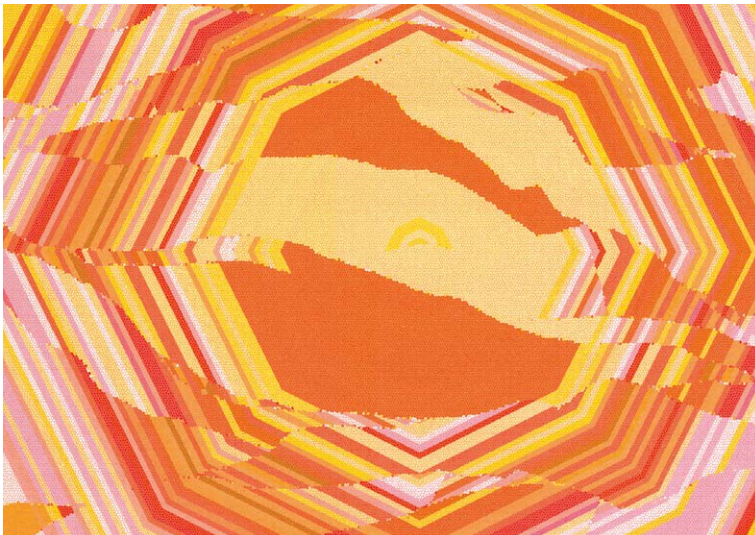


〔想定する空間〕 Hotel, Artist-in-residence

〔デザインコンセプト〕 空間にメリを与える、アクセントウォールの提案である。

壁に無数の点を打ちボロノイ曲線を発生させ、それを塗りつぶし模様を描いた。

壁に＜破く＞＜引っかく＞＜剥がす＞＜積層する＞といった様々なノイズ(柄)が生じることで、空間のハリを適度に解し、使い手の創造性を向上させる。色彩はモノクロと暖色のバイカラーとし、割合を調整することで、より壁面を際立たせることも可能である。点から生まれたノイズは空間に個性と創造性を与える。



memo

No.580

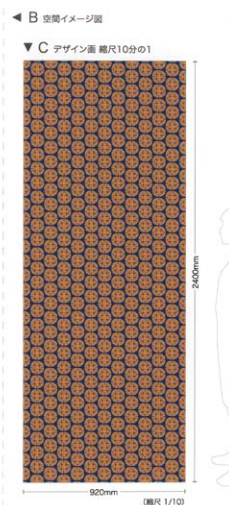
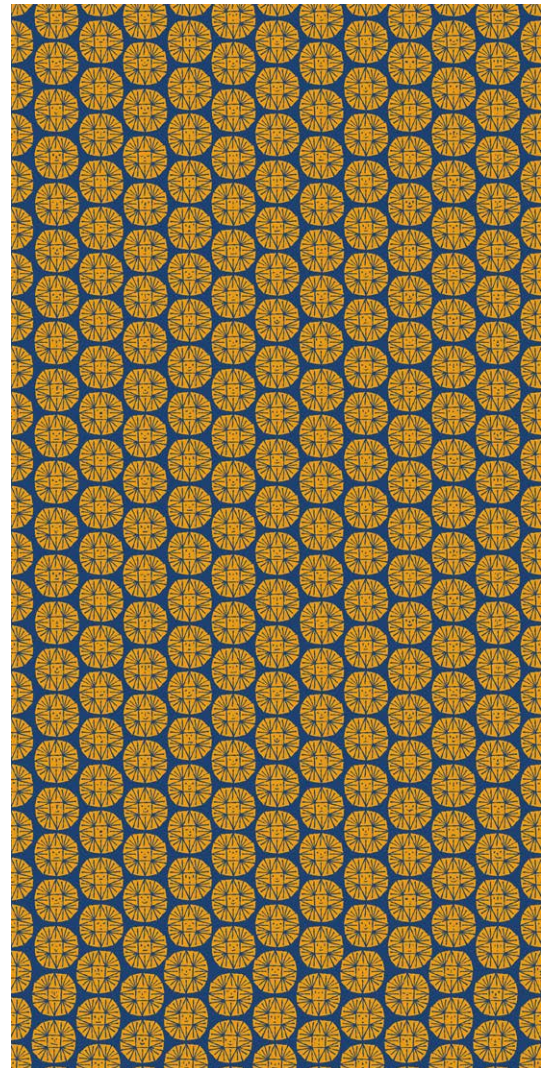
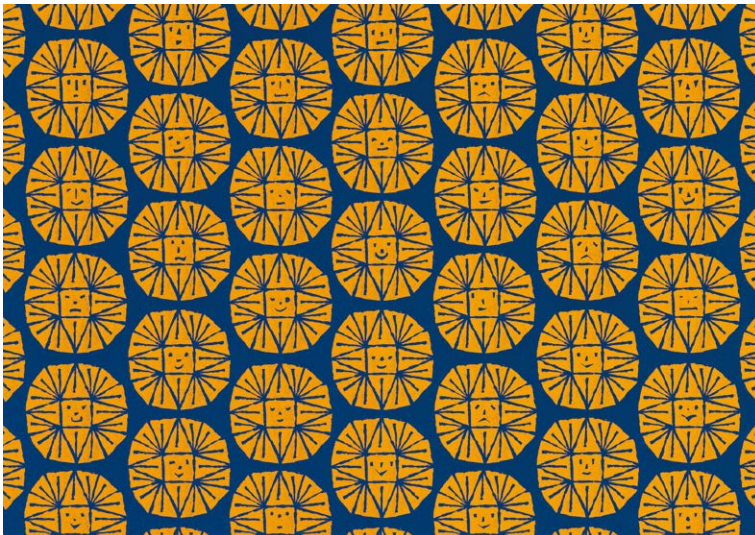
作者名：マサキ ケンイチ マサキ アヤ モンマ ジュン
正木 賢一 / 正木 綾 / 門馬 純

作品名：百光（ヒャッコウ）



〔想定する空間〕 パウダールーム、トイレルーム…

〔デザインコンセプト〕 遠目には丸タイルのモザイク模様に見えるが、近づいてみると夜空に輝く星を象った「顔」の絵柄であることに気づく。その表情は、にっこり微笑み顔、物思いのお澄まし顔、ちょっぴり悲しげな顔、何かを企む怪しげな顔…見る度に発見がある「百面相」の顔ぶれを楽しむ「遊び心」を大切にしたいデザイン。一日の始まりや終わりに向き合う鏡越しに佇む面々が、ユーザーに元気や癒しをもたらすことを想定した。また、AR(拡張現実)技術による多様な演出効果も取り入れている。



memo

